



提出順	18	発言順	18	令和 3 年 8 月 25 日
				午前 午後 11 時 50 分受領

( 2 枚中No.2 )

2021年 8月25日

安曇野市議会議長 召田 義人 様

安曇野市議会議員

白井 泰彦

## 一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 3 年安曇野市議会 9 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問 時間	分
答弁を求める者	<input checked="" type="checkbox"/> 市 長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input type="checkbox"/> 市民生活部 <input type="checkbox"/> 福祉部 <input type="checkbox"/> 保健医療部 <input type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ( )		
質問事項	市内巡回バスを地域主導型のコミュニティー方式で		

質問の要旨 (具体的に記載してください)

市の地域公共交通協議会部会の結論に対して

- 1 利用者数は、実際に対象地域の全地域住民を対象に、どのような頻度でどこを目的地に利用するかを聞き取って、より実態に即した数値を基に収入見込みの計算をすべきではないか。
- 2 巡回バスの運行の進め方は、市と地域住民との協働の取り組みで進めるコミュニティー方式とし、巡回バスの必要性を強く訴える地域における運行を優先的に進める仕組みを構築すべきです。そして漸次全市的に巡回バスの運行を広げていくことで公平性が確保できるのではないか。
- 3 運行費用の試算は、巡回バスの運行を求める地域住民の意向をより正確に反映した運行路線、運行日、運行時間、便数、運賃、運行車両の種類、利用促進に向けた対策等を根拠に行なうべきではないか。
- 4 巡回バスとデマンドあづみんの運行を一体的に進めて交通空白を解消する方針を明確にして国庫補助金を活用すべきではないか。